

常盤中学校だより

令和4年度 第 6号
令和4年10月19日

- 学校教育目標 「学び合い 支え合って生きる」
- チャレンジ目標 「気持ちよい挨拶・心磨く掃除・時間厳守」
- 生徒会スローガン 「Infinity(無限大)∞
～一人でできないことでも、みんなとなら～」
- 常盤中校区でめざす子ども像 「地域を愛し、心豊かにたくましく生きる子ども」



【JOBフェア『みらいWalker UBE』】

昨年度に引き続き宇部市教育委員会主催の『みらいWalker UBE』が、市内の中学2年生を対象に9月28日・29日に開催されました。



本校2年生も9月29日に参加し、宇部市にある様々な企業の仕事内容や魅力について知る良い機会となりました。

将来、この行事に参加した宇部市の中学生が、宇部市の企業に就職したり、宇部市で起業したりして、宇部市を担う人材として活躍することを期待したいものです。



◆常盤湖について◆ ～ちょっとひと休み～

先日、恩田地区社会教育推進委員会において、「常盤湖」の歴史について子どもたちや地域の方に知っていただき、地域を愛する心を育成したい旨の話がありました。この「常盤湖」は、宇部市民に広く親しまれており、常盤中学校区だけでなく宇部市の宝でもあります。

その「常盤湖」の歴史については、市のHPによると1698年(元禄11年)に築堤、1701年(元禄14年)に溜水、用水路工事、検地等関連作業が完成し、約300haの水田を灌漑することができ、築造当時、米の生産量は40万kgから125万kgとなり、年間5000人分以上の食料増産となったようです。

また、常盤湖を有する常盤公園は、2008年(平成20年)に「近世萩藩の新田開発に伴って造成された人造湖を母胎とし、その後、自然風景を活かした景勝地として発展を遂げた都市公園で、現在でも宇部市民に広く親しまれている。地元の実業家による土地購入活動・寄贈の下に開設に至った公園でありその造園史上の意義は深く、造園文化に果たす役割が大きい」という理由により、国の登録記念物に登録されました。

更に、2016年(平成28年)には、右記のとおり【世界かんがい施設遺産】に登録され、灌漑施設の維持管理に関する意識向上に寄与するとともに、灌漑施設を核とした地域づくりに活用されることが期待されています。

令和4年11月26日(日)に恩田ふれあいセンターで「常盤湖の歴史」について講演が開かれる予定です。ご興味のある方は、恩田ふれあいセンターにご確認ください。

※【世界かんがい施設遺産】建設から100年以上経過し、歴史的・技術的・社会的価値のある灌漑施設を登録



- 当時の領主福原広俊が、農地の開作政策を進め、1695年に常盤湖築堤に着手し、1698年に広さ80haの湖を完成。
- 築造当時、米の生産量は40万kgから125万kgとなり、年間5000人分以上の食料の増産。
- 風光明媚な常盤湖周辺を市民に一般開放するため、1925年に「ときわ公園」が開設。
- 現在は、常盤湖畔は緑と花であふれ、「UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」の会場や彫刻の展示場として利用され、多様な利用形態を有する都市公園として多くの市民に愛されている。

農林水産省 HP より
一部抜粋

Tokiwa Reservoir



荒野を人口の4倍の食料生産地へと変貌させた、ため池



常盤湖全景

◆令和4年度 文化祭について◆

令和4年度校内文化祭を10月29日(土)・30日(日)に開催します。コロナ禍の影響で今年度の文化祭も昨年同様以下のとおりとしますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ①10月29日(土)に学年毎の合唱発表を行う。自分のお子さんが発表する時間のみ、希望される保護者の鑑賞を可とする。
- ②10月30日(日)の体育館における発表については、原則、生徒及び教職員のみで実施する。
ただし、自分のお子さんが発表される時間のみ希望される保護者(各家庭1名)の鑑賞を可とする。
- ③午前中の開催とし、バザーは実施しない。
- ④校舎内の展示については、時間を設定して開放する。

◆今後の予定◆

10月24日(月)	学力定着状況確認問題(1年)	11月18日(金)	参観日、うべ授業の日
10月29日(土)	文化祭1日目	11月22日・24日	期末テスト
10月30日(日)	文化祭2日目	11月30日12月1日	3年三者懇談会
11月9日(水)	習熟度テスト	12月2日(金)	マラソン大会
11月12日(土)	常盤中見学会(小学6年生対象)		
11月16日(水)	進路説明会(3年)		